イ　減損の認識に至った経緯

当該資産は、人工気象室及び気体混合・交換装置を用いた植物体の光合成測定のための実験室及び研究用資材の保管のための施設として使用してきましたが、他の施設へ機能を集約することから使用しない旨を決定したため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

| 資産名称 | 種類 | 損益計算書に計上した金額 | 損益計算書に計上していない金額 |
|---|---|---|---|
| 環境調節実験室 | 建物 | 0円 | 1,221,128円 |

エ　回収可能サービス価額の算出方法

当該資産の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

【果樹研究所千代田試験地　第２ポンプ室ほか】

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

| 資産名称 | 用途 | 場所 | 種類 | 帳簿価額 |
|---|---|---|---|---|
| 第２ポンプ室 | 研究業務用 | 茨城県かすみがうら市 | 建物 | 2,800,116円 |
| ポンプ室 | 研究業務用 | 茨城県かすみがうら市 | 建物 | 935,560円 |
| | | | 構築物 | 1,828,392円 |

イ　減損の認識に至った経緯

当該資産は、圃場の冠水設備として使用してきましたが、経年劣化による老朽化が著しく、他の施設へ機能を集約することから使用しない旨を決定したため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

| 資産名称 | 種類 | 損益計算書に計上した金額 | 損益計算書に計上していない金額 |
|---|---|---|---|
| 第２ポンプ室 | 建物 | 0円 | 2,800,116円 |
| ポンプ室 | 建物 | 0円 | 935,560円 |
| | 構築物 | 0円 | 1,828,392円 |

エ　回収可能サービス価額の算出方法

当該資産の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

【野菜茶業研究所武豊野菜研究拠点　庁舎等敷地ほか】

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

| 資産名称 | 用途 | 場所 | 種類 | 帳簿価額 |
|---|---|---|---|---|
| 敷地 | 研究業務用 | 愛知県知多郡武豊町 | 土地 | 7,454,468,333円 |
| 建物 | 研究業務用 | 愛知県知多郡武豊町 | 建物 | 96,654,822円 |
| 構築物 | 研究業務用 | 愛知県知多郡武豊町 | 構築物 | 36,177,977円 |

イ　減損の認識に至った経緯

当該研究拠点は、東海地域における施設園芸等の研究拠点として施設等を使用してきましたが、小規模な研究拠点の集約化によって、平成27年３月末をもって研究機能をつくば野菜研究拠点へ移転・統合し廃止したため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

| 資産名称 | 種類 | 損益計算書に計上した金額 | 損益計算書に計上していない金額 |
|---|---|---|---|
| 敷地 | 土地 | 0円 | 5,977,457,453円 |
| 建物 | 建物 | 0円 | 96,654,822円 |
| 構築物 | 構築物 | 0円 | 36,177,977円 |

エ　回収可能サービス価額の算出方法

敷地の回収可能サービス価額は、正味売却価額により測定しており、当該正味売却価額は不動産鑑定評価額を用いております。

建物、構築物の回収可能サービス価額は、売却見込みがないことから使用価値相当額により測定しており、当該資産の使用が想定されていないことから０円として算出しております。

【北海道農業研究センター　牧野管理調査室ほか】

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

| 資産名称 | 用途 | 場所 | 種類 | 帳簿価額 |
|---|---|---|---|---|
| 牧野管理調査室 | 研究業務用 | 北海道札幌市 | 建物 | 1,081,535円 |
| | | | 構築物 | 44,444円 |
| 草地調査室 | 研究業務用 | 北海道札幌市 | 建物 | 604,307円 |

イ　減損の認識に至った経緯

当該資産は、資料の調整、分析及び農機具類の保管用施設として使用してきましたが、経年劣化による老朽化が著しく、他の施設へ機能を集約することから使用しない旨を決定したため、減損を認識しております。